

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、	課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		センターとしての基準はクリアしている	
	②	職員の配置数は適切であるか。	○		国の基準は園児4に対して保育士1となっているところ船橋市の基準の3:1での職員配置ができています	産休・療養休暇などでお休みしている職員がいる中で人手不足感が否めない
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		センターとしての基準はクリアしている	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎朝の清掃、定期的な大掃除、消毒薬を使った管理、委託業者による午後の清掃など行なっている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		PDCAサイクルのについての研修など行なっていく
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		10月に園評価として保護者向けアンケートを行ない、集計結果を配布している。	アンケート結果からの改善点を抽出し適切な改善点を考えていく
	⑦	事業者向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			31年度の結果を公表する
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第3者評価は行っていない	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人研修、園内研修を行なっている	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか		○		個別支援計画の作成は行っているが、アセスメントについては32年度取り組む
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		作成の予定
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個別支援計画の書式は内容を網羅している	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個々の目標担任間で周知し支援にあたっている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		クラス毎で適切な活動構成が行なわれている	

⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		週ごとに活動を調整している	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個別・専門職 集団・クラス	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼 クラス打ち合わせ	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		クラス会議 10分会議	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々日誌・週間活動記録・クラス会議記録	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半期に1度のモニタリングと目標の見直し	
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		セルフプランの方が90%
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		こ発・保健所・家庭児童相談室・児童相談所との連携	
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		他事業所の見学・見学者の受け入れ	
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		意見書・指示書の依頼・受診同行	
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		引継ぎの為の連絡票の送付・依頼があれば引継ぎの会議	
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		引継ぎの為の連絡票の送付・依頼があれば引継ぎの会議	
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		療育児施設会議への参加 県立支援学校との意見交換	
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		外部との接触を苦手とする園児に配慮し積極的には行っていない 市の事業である交流保育は全員に周知し、希望者には参加のお手伝いをしている
㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	児童部門としてとらのこ施設長が出席	

③①	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳での連絡・電話連絡・面談を適宜行っている	
③②	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者勉強会を年2~3回行なっている(主催は保護者会・後援会)	
③③	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に行なっている	
③④	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援の内容について確認する面談を行い押印いただいている	
③⑤	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		適宜、電話連絡や面談の機会を設けている	
③⑥	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		毎月の保護者会の開催	
③⑦	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	○		保護者からの発信について細かく調査し、適宜面談や電話連絡を行なっている。	
③⑧	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月のさざんかだより、給食だより、隔月の保健だよりその他行事のお知らせなどのお手紙の配布	
③⑨	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		事前に、保護者へ同意書を配布 個人情報の管理に徹底	
④①	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個々の園児の特性に合わせた配慮 外国人保護者へのルビ付きの支援計画の配布	
④②	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○	外部との接触を苦手とする園児または保護者に配慮し積極的には行っていない	
④③	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		策定してある 緊急対応についての研修は今年度3回以上行っている	
④④	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月の避難訓練や、引き渡し訓練、KYTの実施災害伝言ダイヤルの体験等	
④⑤	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		看護師を中心に状況の把握を行なっている	
④⑥	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		対象の園児に対して生活管理指導表の配布、医師の指示に従っての給食提供	
④⑦	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		提出されたヒヤリハットは必ず職員内で回覧している	ヒヤリハットの書式の見直し

④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員会議などで検証している	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		個別支援計画に身体拘束についての確認の文章を記載	面談の中で保護者に同意を得るための告知とその記録を残していく